

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	〇
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	新築及び用地取得の場合で最高3,000万円の補助金が受けられることで、自治会の負担へ軽減されるが、市の財政状況を考慮し、かつ、着実な建設促進を行うため、見直しが必要と考える。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	鎌ヶ谷第二区連合自治会館建て替えの補助を行う。
②①に基づく取組み結果	「自治会集会所の新築に係る補助金交付基準」の見直しを図り、労務単価の上昇分と消費税アップに伴い補助金限度額について最高3,300万円の補助が受けられることとなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の建設を予定している自治会	意図(対象をどうするのか)	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自治会加入率増加にもつながる。
②事務事業の概要	自治会が集会所を建設する際に、その整備費の一部を助成する。 補助対象経費 事業費の8/10以内 限度額 新築及び用地取得 33,000千円・新築のみ23,000千円・解体1,500千円			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	受所自治会館の解体及び建設事業に対し、21,010千円の補助金の交付を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	ふれあいラリー参加者		2,238	2,064	人	業務取得
	ii	自治会加入率		68	68	%	業務取得
	iii	自治会加入世帯数		29,398	29,407	世帯	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	30,000	21,010	金額(千円)	内容		33,623	
国支出金(千円)			20,000	受所自治会館建設			
県支出金(千円)			1,010	受所自治会館解体			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	30,000	21,010				33,623	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会とのヒアリングを実施し、実施計画に計上していく。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	受所自治会館建替の補助金を交付した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	受所自治会館解体・新築事業への補助金交付	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	21,010千円	21,166	21,166	当初	21,166	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	21,010
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に関する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コミュニティセンター利用者向上のため市内4館(くぬぎ山、北中沢、鎌ヶ谷、南初富の各コミュニティセンター)に洋式トイレを設置する。また、雷から施設を守る「誘導雷防止装置」を6コミュニティセンターと軽井沢集会所に設置する。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	非常勤職員が常駐する3館(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央)について、指定管理者制度を導入するための手続きを行う。
②①に基づく取組み結果	洋式トイレ及び誘導雷防止装置を各コミュニティセンターに設置した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図(対象をどうするのか)	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成を図る。
②事務事業の概要	地域住民の自主的な活動の場を確保し、もって市民相互の交流を深め、市民福祉の向上と人間性豊かな地域社会の形成を図るため、市内6ヶ所のコミュニティセンター(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、北中沢、くぬぎ山、栗野)を管理運営する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	利用人数は平成24年度以降増加傾向にあり、今後も利用方法や施設・設備等について検討・改善を行うことで、更なる増加が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市内6ヶ所のコミュニティセンターを管理運営することにより、市民福祉の向上と人間性豊かな地域社会の形成に大きく貢献した。 平成25年度の総利用者は、107,748人であった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数(利用者数/コミュニティセンター数)			17,958	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費(管理運営費/コミュニティセンター数)			8,382	千円	業務取得
	iii	③一人当たりの管理運営費(管理運営費/利用者数)			467	円	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	43,713	48,468	金額(千円)	内容		50,291	
	国支出金(千円)		48,468		コミュニティセンター維持管理費		
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	43,713	48,468			50,291	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	コミュニティセンター3館(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央)について、「民間委託推進計画」の位置づけのもと指定管理者制度の導入について検討を行う必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	洋式トイレ化及び誘導雷防止装置の設置を行い、利用者サービスの向上を図った。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績		当初			H24からの繰越
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公共施設の長寿命化を図るため、経年劣化した施設の改修を行う。今年度は、北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水及び空調設備改修工事が平成26年度に実施されるに当たり設計委託を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	経年劣化したコミュニティセンターを計画的に改修する。26年度は、北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事を前年度から繰越し行う。また、南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事を行う。
②①に基づく取り組み結果	北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上外壁工事の設計を行い、工事を発注した。(H26繰越)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図(対象をどうするのか)	コミュニティセンターの適正な維持管理を図ることにより、地域コミュニティの活性化を図る。
②事務事業の概要	老朽化した北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水の改修工事及び空調設備の改修工事を行う。(平成25年度、平成26年度の2カ年事業) また、南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水改修工事を行うに当たり、実施設計を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各施設とも老朽化が進み、今後も修繕が必要となることが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事実施設計及び工事。南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事実施設計。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数(利用者数/コミュニティセンター数)		17,958	人	業務取得	
	ii	②1施設当たりの管理運営費(管理運営費/コミュニティセンター数)		8,382	千円	業務取得	
iii	③1人当たりの管理運営費(管理運営費/利用者数)		467	円	業務取得		
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	16,348	17,354	金額(千円)	内容	68,837		
国支出金(千円)		500	12,800	空調設備改修工事(北中沢コミセン)			
県支出金(千円)			3,528	外壁・屋上防水及び空調設備改修工事実施設計委託(北中沢コミセン)			
市債その他(千円)			861	外壁・屋上防水改修工事実施設計委託(南初富コミセン)			
一般財源(千円)	16,348	16,854			68,837		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	各施設の老朽化が進み、維持管理・修繕費用がかさむ状況となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水及び空調設備改修工事を実施した。(H26繰越)					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	公共施設の長寿命化計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水工事及び空調改修工事	67,818	66,191	当初	5,313	17,354	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			
③達成状況	未完了			補正	62,505		現年分
④未完了・非着手の理由	2ヶ年繰越事業			流用・充当	-1,627	17,354	
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		48,837	